

五葉松の粒で乳がん手術後に 受けた抗がん剤治療による 副作用がなく子育ては順調

**乳房にがんが見つかり
呆然としながら子ども
の顔を思い浮かべた**

愛知県春日井市に住む主婦の山下愛子さん(仮名・四十歳)は、二〇一三年十一月に、自治体の健康診断で乳がんが見つかりました。

「検査を担当した医師によると、がんは左乳房の奥のほうにあるとのことでした。医師からは、『がんはリンパ節まで転移しているおそれがあるのです、すぐに手術をしたほうがいい』といわれました」
紹介された大学病院を受診した山下さんは、精密検査を受けた後、



山下さんは五葉松の粒を飲んでがんの再発や転移を防いでいる

十二月に乳房の全摘手術を受けることが決まりました。「私には子どもが三人います。万が一のことが起こったら、子どもたちはどうなるのだろうか」と、三人の顔を思い浮かべながら呆然としていました」
手術を無事に終えた山下さんは、今後のことを健康にこわしい知人に相談したとこの

と。知人は山下さんに食事や運動など、生活習慣のアドバイスをしながら、五葉松の粒をすすめてくれたそうです。

「知人から、『五葉松の粒は免疫力を高める働きが期待できるので試してみたら』といわれたんです。昨年末のことでした。知人は、『五葉松の粒は八時間おきに飲むのがいい』といっていたので、午前十時、午後二時、午後十時と一日三回、二粒ずつ飲むようにしました」

山下さんは、二〇一四年一月から、三週間おきに計四クルの予定で抗がん剤治療を開始。五葉松の粒を毎日飲みつづけたところ、免疫力の向上を感じたといいます。「治療期間中に副作用が起こ

ることを覚悟していたのですが、ほかのがん患者さんに比べて、副作用の症状が軽かったです。私と同じように抗がん剤治療を受けていた人たちは吐きけがひどかったり、『体がだるくてつらい』といっていたのに、私だけふだんどおりの生活を送ることができました」
**貧血や冷え症も改善し
再発への不安が消えて
運動や趣味を再開**
知人から受けたアドバイス

やましたあいこ 山下愛子さん(仮名)のカルテ

Karte

ⓧ	発症	45歳	健康診断で左乳房にがんが見つかり、全摘手術を受ける
📅	開始	45歳	2013年12月から、午前10時、午後2時と10時に2粒ずつ飲む
😊	改善	45歳	副作用を感じずに抗がん剤治療を終える。貧血や冷え症のほか、関節痛も改善
👍	現在	46歳	定期検査で異常を指摘されず、ウォーキングやガーデニングを再開

どおり、糖質を控えて野菜と良質のたんぱく質をたくさん含む食事をとるようにしてい



五葉松の粒はカプセルを噛みつぶして中身をとめるようにして飲んでいい

るといふ山下さん。長年の持病だった貧血や冷え症に悩まされることもなくなったそうです。

「昨年の秋から、肩に関節痛のような痛みを感じていたのですが、五葉松の粒を飲んでから、いつの間にか痛みが消えていました。五葉松の粒には抗がん作用だけでなく、ピロレン酸という成分によって血液をきれいにする働きがあるようですが、そのおかげか

もしれません」

がんの再発や転移に対する不安が完全に消えたわけではないものの、治療効果の向上を実感することで、山下さんの不安は少しずつ小さくなっていったそうです。

「知人だけでなく、定期検査を受けている病院の担当医からも、生活習慣のアドバイスをいただいています。細かい内容なのですが、自分のできる範囲で行えばいいので、ス

トレスになりません。がんの治療において何よりも大切なのは、精神的な安心感だと思います」

手術を受けてからしばらくは激しい運動を控えていたという山下さんは、最近になって趣味のウォーキングやガーデニングを再開。これからも五葉松の粒を飲みつづければ、子どもたちの成長を見守っていききたいと語ってくれました。

体験者の声 八田文子さん(仮名)

子宮筋腫で子宮を全摘後、 五葉松の粒で白血球が増えて 免疫力が高まり低体温も解消

乳児の頭大の子宮筋腫
ができ手術後は仕事を
辞めるほど体力が低下

「五葉松の粒のおかげで、免疫力の高まりを感じています」

そのように話すのは、愛知県春日井市に住む八田文子さん(仮名・四十七歳)。現在、

児童福祉関係の仕事をしている八田さんは、これまで子宮内膜症と子宮筋腫という女性

特有の病気にかかり、二〇一一年十月には、子宮を全摘出する大きな手術を受けました。

本来なら子宮内にしかできない組織が、子宮以外の場所に行けるのが子宮内膜症です。

八田文子さん(仮名)のカルテ

発症	38歳	子宮内膜症と診断される
悪化	44歳	乳児の頭大ほどもある子宮筋腫が判明し、子宮の全摘手術を受ける
開始	47歳	2014年2月から、朝・昼・晩の食後に1粒ずつ飲む。疲労時は就寝前に1粒増やして飲む
改善	47歳	医師から白血球の数が増えたことを伝えられる
現在	47歳	低体温が解消するなど免疫力の向上を実感

子宮筋腫は、子宮の壁を形成する筋肉の一部に腫瘍ができる病気のこと。どちらも悪性

の病気ではありませんが、生活の質の低下など、日常生活にさまざまな支障をもたらします。

「子宮内膜症が見つかったのは二〇〇五年で、しだいに痛みを感じるようになりました。婦人科で処方されていた漢方薬の効きめを感じられず、何とか病院から足が遠のいてしまいました」

当時、訪問介護の仕事をしていて八田さんは、とても忙しい毎日を送っていたとのこと。主婦として家事もしていたため、心身ともに大きなストレスを感じていたそうです。「介護の仕事はやりがいがある

るので、忙しさを感じても続けていました。でも、無理を重ねていたのがたたったのか、しだいに子宮内膜症とは違った痛みを感じるようになったんです」

その後、八田さんは過多月経（月経時の出血量が多い症状）や性器からの不正出血、貧血などに悩まされるようになります。家事ができなくなるほど激しい痛みを感じることもあったそうです。「そんなときに、健康に関する勉強会に参加する機会がありました。講師を務めていた人に受診をすすめられて精密検査を受けると、子宮筋腫とわかったんです」



家族の支えを受けた八田さんは、五葉松の粒で体力の回復を実感している

五葉松の有効成分には、抗がん作用のあることが確かめられている



会がありました。講師を務めていた人に受診をすすめられて精密検査を受けると、子宮筋腫とわかったんです」

「手術後は痛みや出血に悩まされることはなくなりましたが、体力が急激に落ちたので、介護の仕事を辞めることになりました」

一日三粒飲んだら 体温が三六度C台まで 上がり仕事も再開

「知人から、『五葉松の粒には免疫力を高めるだけでなく、抗がん作用も確かめられている』といわれて関心が高まりました。子宮筋腫は良性の腫瘍ですが、がんの予防にもいいと思いました」

「五葉松の粒を試すことになった八田さんは、朝・昼・晩の食後に一粒ずつ、一日計三粒を飲みはじめました。特に疲れを感じたときは、就寝前に一粒を加えたそうです。『五葉松の粒を飲みはじめて一〜二ヵ月たつと、定期検査で、白血球の数が増えてきました。これまでもずっと三〜四五度Cだった低体温も、常に三六度台で安定し、仕事も再開できました』

ワンポイントアドバイス

生命力がとても強い五葉松の種子には、リグニン配糖体と呼ばれる成分が豊富に含まれ、免疫力向上作用や抗がん作用、抗ウイルス作用を発揮することが昭和大学医学部の研究で明らかになっています。五葉松の粒には松の実の油に含まれるピノレン酸の働きによって、血液の浄化も期待できます。